

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	事業所内保育施設運営事業			シート番号	014-091
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進
				課	評価責任者(課長名)
					長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法、子ども・子育て支援法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	仕事と子育てを両立できる職場環境整備のための取り組みが求められるなか、労働者の就労状況に応じた多様な保育ニーズに応える有効な施策を講じる必要が生じたため事業が開始された。なお、平成27年4月から施行された、子ども・子育て支援新制度における「事業所内保育事業」については、「地域型保育事業」において計上することとし、本事業とは区分けしている。(3施設中2施設が移行)				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業所内保育施設)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	事業所内保育施設を利用する子ども及びその保護者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	仕事と子育てを両立できる職場環境の整備するとともに、保育サービスの拡大による保育所の入所待機児童の解消を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【事業所内保育施設設置支援事業補助金】 新たに定員5名以上の事業所内保育施設を開設する事業主に対して補助を行う。 ・運営費補助 0~2歳児 1人月額62,000円 3~5歳児 1人月額38,000円			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		事業所内保育施設				

Ⅲ. 投入量

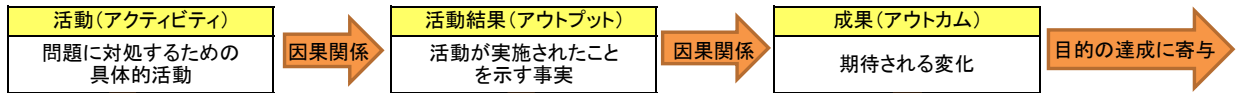
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	6,864	5,146	6,864	5,332	6,026	5,580	6,026
	主な事業費内訳								
	負担金、補助及び交付金	千円	6,864	5,146	6,864	5,332	6,026	5,580	6,026
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
	財源内訳								
	国・府支出金	千円	-	-	-	-	-	-	-
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-	-
	市債	千円	-	-	-	-	-	-	-
	その他()	千円	-	-	-	-	-	-	-
一般財源	千円	6,864	5,146	6,864	5,332	6,026	5,580	6,026	
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,684	5,966	7,684	6,152	6,836	6,390	6,846

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	事業所内保育施設運営事業	シート番号	014-091
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績									
活動実績と成果	14	大阪府立大学内にある市独自の基準を満たす事業所内保育施設に対し運営経費の一部を補助することで、入所率80%(地域枠10人定員に対し8人の入所)となっており、保育サービスの拡大による保育所の入所待児童の解消と仕事と子育てを両立できる職場環境の整備に寄与することができた。							
		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	入所率 (各年度3月1日現在)		%	目標値	100	100	100	-
				実績値	80	80	80	80	
				達成率	80%	80%	80%	80%	
				評価	普通	普通	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など							
				各年度3月1日時点の「総入所児童数」÷「総定員数」にて算出					
	16			単位	目標値	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-	
				達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	年間延べ入所者数	人	83	86	90
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,966	6,152	6,390
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	71,880	71,535	71,000
	備考(算出についての説明等)		設定指標が割合であることから単位当たり経費の算出に適さない為、年間延べ入所者数で算定。			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①			-	-	-
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	-	-
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	-	-	-
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	現状、利用者は府立大学関係者(当該事業主の雇用する従業員又は学生)の児童に限られており、入所率は学内のニーズにより左右される状況にある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	事業所内保育施設運営事業	シート番号	014-091
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コ ロ ナ 禍 を 踏 ま え た 点 検 （ 必 要 性 ・ 有 効 性 ・ 効 率 性 ）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は令和2年度の実施を最後に終了するものである。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 本事業は令和2年度の実施を最後に終了する事業である。			